

表題：第10回瑞穂町の協働を考える会議 概要

- 1 日 時 平成26年2月26日（水曜日） 18時05分から19時55分
- 2 場 所 町民会館第2会議室
- 3 出席者 （構成員） ※敬称略
榎本和己、加戸佐織、香取幸子、川口尊、古宮郁夫、中沢清、
野本多恵子
（瑞穂町協働施策推進アドバイザー）
辻山幸宣
（事務局）
住民部長田辺健、地域課長古川実、地域課地域係長友野裕之、
地域課地域係主任福島聡
- 4 欠席者 近藤隆幸、清水久央
- 5 議 題
 - 1 （仮称）瑞穂町協働宣言について
 - 2 協働宣言の実現について
 - 3 その他
- 6 配付資料
 - 1 次第（当日配付）
 - 2 第9回瑞穂町の協働を考える会議まとめ（事前配付）
 - 3 （仮称）瑞穂町協働宣言（H26.2.26修正）（事前配付）
 - 4 自身が係わる協働、協働と思われる活動・事業（事前配付）
 - 5 協働宣言の実現について（当日配付）
 - 6 会議スケジュール案（当日配付）
 - 7 瑞穂町審議会等一覧（当日配付）
 - 8 参考資料（長期総合計画の位置づけと構成）（当日配付）
 - 9 参考資料（『新しい公共の場づくりのためのモデル事業実績集』
東京都発行より抜粋）（当日配付）
- 7 開会
古宮座長
- 8 議題1 （仮称）瑞穂町協働宣言について
資料の確認及び説明
友野係長から
 - ・ 資料の確認及び説明

【方針の5項目のタイトルに関する議論】

- ・ 大体これで良いと思います。パターンだとA案で良いと思います。
- ・ 漢字1文字で表しているC案は、字を大きくするか太くしないと分かりづらい

と思いました。個人的にはD案が良いと思いました。D案は先に動詞が来るので分かりやすいと思いました。

- 原案でも良いと思いました。A案が自然だと思いますが、「人と人 つなげよう」というのは何となく違う感じがすると思いますか「人をつなげよう」というのは違和感があります。まとまりがあるのはA案かと思います。
- 原案が良いのではないかと思います。
- 漢字1文字で表しても良いと思いましたが、こうして見るとちょっと分かりづらいかもしれませんので、ぱっと見て分かりやすいのは原案だと思います。
- 「分け合い 伝える」も少し分かりづらい感じがしますので、そうなるとD案の方が分かりやすいと思いました。基本は原案をベースにしても良いと思いますが、「分け合い 伝える」だけをもう少し整理しても良いと思います。
- 「分け合い 伝える」と「広げよう 人との和」は若干意味が違うような感じがします。また、1つ目のタイトルにも似てくると思います。
- これが最終的な決定ではないのでしたら、原案が良かったので原案も良いと思いました。
- パターンにこだわる必要はないと思いました。
- 例えば1つ目がA案で2つ目がD案という個別に選んでも良いと思います。
- 宣言という形になるとやはり働きかける意味があった方が良いと思います。
- 少しつまらなくなってしまうかもしれませんが、C案は漢字一文字を入れなかったらそれはそれで分かりやすいと思いました。
- 原案の方が軽い感じといますか、読み終わった後に重たい感じにならないと思いました。文章自体は「〇〇ます」で終わっていますので、題目も同じようだと窮屈になってしまうと思いました。入口としては緩い感じでぱっと見られて、読んでみたらきちっと宣言されていて良いと思います。
- 1つ目の「人と人とのつながり」のところだけはD案が良いと思いました。その方が少し前向きだと思いました。
- 「人と人とのつながり」というとそこで終わってしまうような気がしますが、中身を読むと終わっていないと思うのでこれくらい軽い感じでも良いと思います。
- 協働宣言の対象とする世代は全員だと思いますが、10代や20代など世代によっても印象は変わると思います。
- 多数決で決まった後ですが、5項目の2つ目だけ違った語調になってしまっているのが気になります。

事務局より

- 来月の中旬あたりに庁議があり、そこでこの会議の案を示そうと思っています。今日の時点で会議としての形を提示してもらえればと思います。町が宣言するので、庁議でもさまざまな意見が出るでしょうし、それをこの会議でもお伝え

します。

- ・ 2つ目が違う語調になっているのは個人的に気になるところではありますが、会議で決定したことですし、庁議でもこれについて意見が出てくるかもしれません。

結 論

- ・ 方針の語調パターンは5項目それぞれ多数決で決することとし、結果それぞれのタイトルは、1つ目はD案「つながろう 人と人」、2つ目はA案「参加する やってみよう」、3つ目はD案「楽しもう 生きがいとやりがい」、4つ目はD案「育てよう 新たな出会い」、5つ目はD案「広げよう 人との和」となりました。

【副題に関する議論】

- ・ 前回の会議で、「住み続けたい町 みんなの手で」が良いという意見もありましたね。
- ・ 片方を消してしまっただけでももったいない感じがします。片方を副題の副題のようにしても良いのではないのでしょうか。
- ・ 「住み続けたい町 みんなの手で」だと、みんなの手で何をするのかが分からないような気がします。
- ・ 皆で協働するので、「手をとって みんなで楽しむ 町づくり」の方が良いと思います。
- ・ 様々な意見を聞いてきた過程もありますので、無理に1つに絞らなくてもいいのではないかと思います。
- ・ 2つのどちらとも残したいというのではなくて、この会議で1つに決めたという形が大事だと思います。
- ・ 副題の副題にしても良いという気持ちも分かります。
- ・ ここできちんと片方を決め、協働宣言が実際動き始めたときにもう片方を何かに使うという形でも良いと思います。
- ・ 2つあるとたくさん意見があって絞り込めないような気がしますので、これだけという片方を残しておいた方が良いと思います。
- ・ この会議の内容も議事録という形で一般の方も見られますので、経緯というのは読んでいただければ分かると思いますし、片方は先程委員が言われたように実際動き出した部分で活かしていけば良いと思います。
- ・ どちらも良い言葉だと思いますので、消してしまうのはもったいない気がします。ただ、「住み続けたい」の「住む」というコミュニティに携わる人に重きを置いた言葉は住民と行政の全体で考えるとあまり相応しくない気がします。
- ・ 「住み続けたい」ですと町内会などが何かやるときに使える言葉かと思います。

- ・ 例えば、瑞穂町で働く人も協働の中には係わってくる部分がありますし、ある意味通りすがりでそのときだけの人でも協働の意識をもって一緒にやるということもあると思います。
- ・ 確かに「住み続けたい町」といったら生活に密着した感覚になってしまうかもしれません。
- ・ 本文中の「まちづくり」の「まち」は平仮名で、副題は漢字になっているのでその辺りは統一した方が良いと思います。個人的には平仮名の方が良いと思いました。
- ・ 「まち」は漢字にした方が良いと思います。副題の「まちづくり」も平仮名ですと何となく締まりがないような気がします。
- ・ 「まち」を漢字にするとすごく力強く良いと思うのですが、ちょっと強過ぎると思います。

事務局より

- ・ 長期総合計画などは平仮名の「まちづくり」としてしています。平仮名の「まちづくり」というとハードもソフトも全てひっくるめたイメージで使っています。ですから、個人的には平仮名が良いと思います。

結 論

- ・ 2つあった副題は片方を多数決で決することとし、全員一致で「手をとってみんなで楽しむ まちづくり」に決定しました。
- ・ 副題の「まちづくり」の「まち」を漢字にするか平仮名にするかを多数決で決することとし、結果、平仮名に決定しました。

議題2 協働宣言の実現について

友野係長から

- ・ 資料の確認及び説明

【会議のスケジュール案に関する議論】

- ・ 4月以降は協働宣言案の実現に向けた議論に入り、協働宣言の方はパブリックコメントに委ね、会議の主体が実現案の方に向かっていくということでしょうか。→事務局：そうです。

【自身が係わる協働、協働と思われる活動・事業について各自発表】

- ・ 武道館の管理が形骸化していることについてですが、社会教育課の体育の担当で職員の異動があるとうまく引継ぎができていないということもあり、協働というのには少し物足りないかもしれません。これは6年位前から始まっていて

業者に任せるような話もありました。笑夢スポーツクラブができたときが最初だと思うのですが、今掃除を順番にすることだけが目的となっています。団体が鍵を管理していますが、鍵が複製されてしまったことで利用団体ごとに差が出てきてしまっていて、役所の方が入って鍵の管理を行い、お互い清掃することで関係を強めていった経過があります。良かった面としては、総会で要望などの意見を言える場ができたことです。

- ・ 2011年の6月から町で小さなイベントを毎月1回開いていますが、商工会の後援もあり、ある程度飲食関係を提供することができました。町外の方も気軽に参加でき、場を提供することでさまざまな情報交換もできています。
- ・ ハートのイルミネーションは去年始めましたが、ステーションMをやっていたことで町の産業課とつながりができました。実際イルミネーションをやっていく段階ではステーションMのミニイベントよりも協働の印象が強いイベントとして開催することができたと思います。今年は2回目だったのですが、町や商工会、観光協会に後援していただき、町の方で電気代の支出や、警察の関係の手続きをやっていただきました。スポンサーとして協賛していただける企業の協力もいただき実現することができましたが、2回目となった今年は社会福祉協議会からも後援をお願いすることができ、イルミネーション点灯時にイベントしたらどうかという提案もあり、瑞穂ブランドや浪江町の焼きそばを販売してもらったり、ライブ演奏してもらったりしました。私自身が参加しているものとしては、一番行政の方とも係わったり、さまざまな団体にも声掛けしたりというところで協働色の強いものになったと思います。
- ・ 大多摩観光連盟のB級グルメに出場したスパイシーイカドッグも、元々ステーションMで販売するものを瑞穂町のB級グルメ枠の中で参加させてもらいたいという話があったので、産業課の方と商工会の方、そして商工会の女性部の協力も得て販売できたという意味では協働という意味合いの強いものになったと思います。
- ・ 産業まつりやサマーフェスティバル、駅伝、運動会も町と住民と一緒にやっていく具体的な協働だと思いました。
- ・ 2月の大雪のときにスムーズに除雪ができる仕組みができていると普段の生活に戻るのがもう少し早かったのではという気がしたので、そういう生活に密着している部分が協働という形の中に入っていくと良いと思いました。
- ・ 保育園や幼稚園、児童館の職員の方がいたり、要望するお母さん方がいたり、間に立って動けない幼稚園や保育園がいたりするので、そこが上手く何かの形でつながってもう少し軟らかく物事が進むことができると良いと思います。
- ・ 今まで町で固定的に行われてきた事業、例えば産業まつりやサマーフェスティバルは協働ではないという意見を持っていましたが、協働の理解が深まるにつれて、それらも立派な協働事業ではないかと考えが変わってきました。
- ・ 寄席や子どもフェスティバル、町民体育祭など町内会の班長をしている関係で

いろいろ係わりがあります。駅伝大会や産業まつりをはじめこの会議や男女共同参画社会推進委員会も協働に関係すると思いました。

- 町と子育てお助けグループや文化連盟と町と共催する映画鑑賞会なども現在行われている協働だと思いました。
- 既存の協働事業をベースに新たに発生してくるものを新規事業として捉えてはどうかと思います。さくら祭りや体験子ども教室などたくさんの行事がありますが、それらをこの委員会で決めた内容で協働事業という位置づけで1つの項目にまとめ、一覧表のような形でまとめたらどうかと思います。
- 既に協働に関する町の指針というものがありますので、これを参考に協働で町が歩んできた歴史が良く分かると思いますので、指針を中心にして今後つくっていけば良いと思いました。
- 社会福祉協議会の手伝いや災害ボランティアセンター設置訓練などをやっていますが、その他にあきる野市の菅生の森協議会というところで、産官学で地域を保全する活動をしています。そこでは山を保全するだけではなく人材育成のような形で農業や林業講座などのお手伝いしています。さまざまな人が係わり、それをマウンテンバイクに乗りながら活動しています。
- 瑞穂町では子どもたち向けのサイクリングをやっていますが、国道16号と八高線を結んだところにある雑木林は1キロ程度走れますので、その雑木林を使って活動をすることで地域の歴史も学ぶことができたり、世代間交流やスポーツもできるのではないかと思います。
- 場があると新しい協働と言いますか、自分たちで残して作るものができると思います。また、遊び感覚で、しかもハンデを負われた方などもひとつ場ができれば一緒になって係わることができると思います。そこは町の魅力ある場所になりますし、町で進めている回廊計画にも町民が一緒になって作ることもできると思います。
- 雑木林も人の手によってつくられた公園ではなく自然な形で作られていき、昔のものを未来につなげていく活動ができると思います。山を保全することは職にもつながりますし、教育にもつながりますので自然の野外活動というものを取り入れたら面白いのではないかと思います。
- 社会福祉協議会から声が掛かってサロン活動を始めましたが、最初は「ひなたぼっこサロン」を箱根ヶ崎西会館で始めました。1度来た方が友達を誘ったりして大勢の方が2か月に1回のサロンを楽しみにされています。将来は町と協働になって町に何箇所もこのようなところができたら良いと思います。
- 事務所のスペースを利用して「つくしサロン」を毎週火曜日に行っています。近所で歩いて来られるような方に来てもらって、そこで話をしたり、愚痴をこぼしたり、歌を歌ったり、体操をしたりということで楽しみに来られて、元気になって帰っていきます。料理を作ったり体操をしたりさまざまなやり方ですが、そこに参加した人が元気になって帰っていくのを見ますと、高

齢の方も仕事を持った方も元気でいればもっと元気な町になっていくのではないかということはこの活動を通じて感じています。そこで、将来的に町のさまざまなところでできて、皆が楽しんでサロンができるような町になってもらえたらと思います。

【その他】

- ・ 審議会等一覧表の資料を見ますと、審議会や委員会など87ありますが、この中でも報酬があつたりなかつたりします。これは町を運営していく中で必要なものとして存在しているということで、実質このような検討をする場があつて何らかの方向性などを見出し、町を運営しているということがすごく分かると思います。
- ・ 議会だよりの抜粋の資料には、議員の質問と町長の答弁が書かれており、ここに協働のまちづくりという言葉が使われていますが、ここでいう協働を皆さんがどのように受け取られるかと思います。
- ・ 長期総合計画の位置づけと構成の資料では、基本構想、基本計画、実施計画、予算という動きがあつての町づくりですが、それぞれの地域づくりと町づくりでは違うものかどうかも見えてきます。
- ・ 町が考えていることと私たちが考えている協働に対する捉え方や求めようとしていることについて、議会の動きも踏まえて考えたときに皆さんがどのような受け取り方をされるかと思います。
- ・ まちづくりでもハードやソフトがあるでしょうから、さまざまな角度からまちづくりを見ていかないと片手落ちになってしまうと思います。
- ・ 協働宣言をどのように作ったのか、仕組がどうであるかなどありますが、とりあえず「これが協働だ」ということを見てもらうことも大事かと思います。遊びで来てみたらこれが協働であつて、それを伝えるために協働宣言というものを作っていますという逆の発想もあると思います。
- ・ 先程雪が降ったときのコミュニケーションの部分の話がありましたが、ある大規模な施設から除雪の依頼を受けました。しかし、そこに行くまでの町道を何とかしなければ意味がないんですね。極端な話その区間はどこに請求すれば良いのかということになります。もしボランティアでやるのであればもっと生活に密着して困っているような道路を除雪した方が良いと思います。しかし、それが町道や国道、都道だったりすると道路管理者が違うので話を持っていくところや相談するところが違つたりします。そこを良心でやってしまうと地域に密着しているところが逆に困ってしまいます。どう動いたら良いのかというときに雪の捨て場もなかつたりなど実際さまざまな問題が出てくるんですよ。そういったときに何をどのようにするのがいちばん良いのかと思います。機材や人間はあるので、調整役がいて行政と連絡が上手く取れればもっとスムーズに無駄のない動きができたのではないかと思います。ただやはり自助が一番目

で共助が二番目ですが、今回公助があったかどうかですね。

- ・大きく考えると「協働」ではなく、「共同」も含めた意味で平仮名の「きょうどう」でも良いのかなと思いました。そうすればこの協働も成り立つのではないかと思います。

事務局より

- ・例えば、以前会議でやっていただいたようにグループに分かれてブレインストーミングやKJ法を使い、それぞれのお題目について議論していけば忌憚のないご意見がいただけるのではないかと思います。

アドバイザーからの講評等

- ・必ずしも協働の状態で満足している訳ではなく、何かしらの問題点はあるというのがあるがひとつと、私たちはこれでやっているのだからもっと他にやってみようと思っている人たちに広げるにはどうしたら良いかとかいうのはあります。そういったことを個別に出していき、それを解決するために例えば先程委員の方が言われたように指針を書き換えるという作業が必要となればどこをどのように書き換えたら良いか検討し、それが指針で良いのか、他の自治体でやっているように議会できちんと条例化してもらった方が良いかという問題も含め、テーマは多いと思います。
- ・どうすれば協働をやりたいと思っている人が声に出し、それを受け止める場所があって、ある意味町の主管課の判断ではなく、もう少し客観的に「これは行政に協力すべきではないか」などを言う場ができていくかといったことも検討材料になると思います。
- ・例えば委員の皆さんが主体で、場所は行政が提供して町民フォーラムをやるなど知恵を絞っていくしかないと思います。ホームページには載せるでしょうし、そういったフォーラムなどを町で何箇所か行い、「私たちはこの協働宣言をこういう思いで作りました」ということを共有してもらおう人たちと出会うということが大事だと思います。
- ・「今まで町のために活動してきた人へのケアは？」という項目について、町の事情がよく分かりませんが、今まで尽くされてきた人たちのケアはとても大事なことですし、そういう人たちも提案制度の中で自由に手を上げられるような仕組みがあれば報われるのではないかと思います。
- ・町職員の意識改革はこちらが提案してもどうしようもありません。
- ・1から4つまでの項目を議論し続けていったら5つ目にたどり着くと思います。
- ・大災害が起こった時、公序はないと思っていた方が良いというのが今の大体の自治体の姿勢です。なぜかという現場に行こうと思っても途中で行けなくなっていることがあるからです。ここで議論するときには、例えば私の住んでい

るところも雪でコミュニティバスが入ってくるところが動けなくなっていました。そこは市道ですので道路管理者は市なのですが、とても手が回らないような状況であったので、私たちの団地の自治会ではバスだけは通れるようにしようと公道の雪を1車線ですが除けてバスが通れるようにしました。そこまでではないかと思います。その上で市に対して要望し、とても手が回らないということであれば、「それではもう少し頑張ろう」となりますので、そのときのやり取りの問題だと思います。

- ・ まずは皆で共同する力をつくって「皆でやろう」となり、協働した方が良いと決まれば行政に対して「協働しようよ」ということで手を上げる。そういう関係ではないかと思います。

結 論

- ・ 今後は、第9回で出された意見をまとめた資料にも記載されている協働宣言の実現のために必要と考えられる事項を詰めていき、資料項目5つ目の「協働の手続をどうするか？」につなげていくこととしました。

議題3 その他

事務局から

- ・ 次回会議の日程調整を提案しました。
- ・ この間の雪の除雪に関しては町の建設課が主で優先順位を決めて町道の何本か実施しました。日光街道の箱根ヶ崎の坂のところや円福寺の裏のところ、各学校の小学校のアプローチになるような場所は実施したと聞いています。また、火事が起きると対応できませんので、消防団長から各分団に指示して消防水利は対応できるようにという対応はしています。情報も収集していき、次回このようなことがあったときのための対応は今から着手しています。

(仮称) 瑞穂町協働宣言

～ 手をとって みんなで楽しむ 町づくり ～

～ 住み続けたい町 みんなの手で ～

瑞穂町は、狭山丘陵や狭山池など身近に手が届く自然、青梅街道や国道16号などの幹線道路、歴史を彩った数多くの街道が残っています。

自然と歴史の足跡が残るこの町は、かつて多くの人が行き交うことで様々な文化や産業、そして人々のつながりが生まれました。

先人が残してきた自然や人々が育んできたさまざまなつながりを大切に守り、未来に向け瑞穂町を育てていくためにも、私たちは皆で考え、汗を流し、それぞれができることを分け合いそしてひとつになることで、協働のまちづくりを実現します。

●人と人とのつながり

瑞穂町に住む誰もが喜びや絆、縁を感じ、共に生き生活していくために、子どもからお年寄りまで、優しさが溢れ、心がかよい合う温かい人間関係を築きます。

● 参加する・やってみよう

地域の主役である私たちが、誇りを持って、これからも住み続けたいと思えるような地域を作り上げていくため、地域の行事や活動に参加する意識を持ち、積極的に行動します。

● 生きがいとやりがい・遊び心と楽しさ

お互いに協力することで、私たちが思い描くまちづくりを実現していくために、遊び心と楽しさを持ち、私たちそれぞれができることを活かすことで、生きがいとやりがいを分かち合います。

● 新たな出会い・育てる

さまざまな人たちが集まる出会いの場やきっかけを提供し、同じ考えや目的を持った人どうしのつながりや支え合いを通じて、新たなコミュニティづくりとコミュニティを支えるリーダーシップを育みます。

● 分け合い・伝える

私たちが積み上げてきた経験や知識を互いに分け合っていくとともに、積極的に発信し、それぞれが持つ魅力を伝えていくことで、人と心の和を広げます。

協働宣言5項目の語調パターン案 (A~Dパターン)

1つ目

- A 人と人 つなげよう
- B お付き合い つながる
- C 人 人と人とのつながりを築く
- D つながろう 人と人

2つ目

- A 参加する やってみよう
- B 参加 やってみる
- C 活 地域の活動に参加する
- D やってみよう 行事や活動

3つ目

- A 生きがいとやりがい 遊び心と楽しさを持つよう
- B 生きがいとやりがい 楽しむ
- C 楽 生きがいとやりがいを楽しむ
- D 楽しもう 生きがいとやりがい

4つ目

- A 新たな出会い 育てよう
- B 新たな出会い 育てる
- C 育 新たな出会いを育てる
- D 育てよう 新たな出会い

5つ目

- A 分け合い 伝えよう
- B 分け合い 伝える
- C 和 知識を分け合い和を広げる
- D 広げよう 人との和

語調パターン案の説明
 A 語調を合わせたもの
 B 名詞 + 動詞 で表現
 C 文章を表す漢字一文字 + 説明文
 D 倒置的に語順を入れ替えたもの

※あくまで語調のパターン案
 であり、内容は会議の中で議論
 いただくものです。

